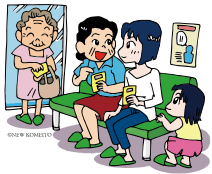


# がん対策530万人の署名が実現

## ～子宮頸(けい)がん、乳がん検診 無料クーポンを配布～



街頭演説の様(上: 笹栗 下: 古賀青年局員)



本年初頭より展開してきました「がん対策強化」を求める署名活動。皆様のご協力により九州・沖縄で530万を超える署名を頂き、政府と県知事へ要望書と共に提出しました。

その結果、女性850万人を対象に子宮頸(けい)がん、乳がん検診のための「無料クーポン券」配布が決定しました。

前原市内でも4月12日筑前前原駅前にて街頭演説を実施。また公明党青年局が中心となり、丸田池公園にて「ワカモノのミカタ」街頭演説会を開催。街頭署名活動も行い、多くの方からの賛同と署名を頂きました。

今後も更なる「がん対策の強化」を目指し努力して参ります

# ささぐり純夫通信



Vol. 22

平成21年6月6日発行  
福岡県前原市前原中央  
1丁目5-28-905  
TEL:092-322-9150

がん対策署名530万人の声を 政府と県知事に届けました。ご協力ありがとうございました。

## 無料でがん検診 女性850万人対象に 無料クーポン券配布

無料クーポン券配布対象年齢 子宮頸がん 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳

公明党の太田昭宏代表、浜四津敏子代表代行、江田康幸衆院議員、遠山清彦前参院議員は5月1日、首相官邸に河村建夫官房長官を訪ね、麻生太郎首相あての「がん対策の充実強化を求める要望書」と、九州・沖縄 **531万2152人**の署名の一部を手渡しました。

太田代表は、男性、女性特有のがんが急増している状況を踏まえ、がん対策の更なる強化充実を要請。河村官房長官は「がん対策の強化に努めていきます」と述べました。

ご協力いただいた皆様の声を受け、公明党は本年度補正予算案に子宮頸がん、乳がん検診のための「無料クーポン券」配布を盛り込ませました。

※臨時点での無料クーポン券配布は2009年度限りとなっております。公明党は無料クーポン券配布の恒久化を政府に要請しています。



九州中央病院副院長 北村薫さん

自発的に、がん検診を受ける流れづくりに期待。

公明党は、がん対策基本法の成立にも大いに貢献された医療に積極的な党であり、がん対策強化を求める署名を500万人以上も集めた結束力はまさに驚異的です。さらに血液検査(PSA検査)だけでなく前立腺がん検診法のアピールは、社会啓蒙の一環として広くがんに対する意識の向上につながったと思います。しかし、新経済対策にある、乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポン券は有難い半面、5年おきの無料の時に検診を受けない人も多いのでは、という不安が残ります。がんは早期発見、早期治療が重要であり、無料でない4年間にも継続して検診を受けてもらう流れをつくるのが大きな課題になりそうです。

今後も、与野党の垣根を越えて医療の充実が図られるような橋渡しを公明党に期待しています。



党福岡県本部も麻生渡・福岡県知事(前列、左端)に、がん対策強化を求める県内194万8878人の署名の一部を手渡しました。(平成21年4月27日 県庁)

河村官房長官(左から3人目)に、がん対策強化の申し入れを行う太田代表(右から3人目)、浜四津代行(右端)、江田氏(右から2人目)、遠山氏(左から2人目)ら。(平成21年5月1日 首相官邸)

## 松本嶺男前原市長に「太陽光をはじめとする再生可能な新エネルギーの積極的な導入」を申し入れ

5月15日(金)前原市役所市長室において、前原市においてもスクールニューディール政策などが確実に事業化できるよう、松本嶺男市長に下記の申し入れを行いました。

1. 太陽光発電設備設置をはじめとするエコ改修を、学校施設などの公共施設で実施
2. 「クールアース・デー」(一斉消灯)運動の定着と環境意識の向上
3. 学校の校庭を芝生化することでの、地球温暖化防止及び子どもの豊かな教育環境づくり、また公園の芝生化で「はだして遊べる公園」づくりの推進
4. 省エネ住宅・建築物の普及促進及び啓発
5. 公用車のハイブリッド化・省エネ化及び新エネルギーの導入促進
6. 糸島の地域性を考慮したバイオマスタウン構想の策定、バイオマスの変換・利用施設等の一体的な整備促進



黒田議員とともに 松本市長に要望書を渡す

# 「糸島デジタル・ミュージアム構想」や 高度な情報インフラの整備を要望

## 平成21年3月 定例議会報告

3月定例議会において、一般質問を行いました。  
本議会で私が発言した内容を紹介します。  
今回は紙面の都合により主な内容のみ掲載します。  
それ以外の項目及び詳細については私のホームページに掲載しています。  
(下段にホームページアドレスを表示しています)

### 「定額給付金」 支給にあたって



(問い)  
定額給付金の支給は原則  
口座振込となっているが、  
口座をお持ちでない方な  
どに對しどのように行う  
のか。

(答え)  
口座をお持ちでない方に  
對しては、6月より庁舎  
内に給付窓口を設置し、  
職員による窓口での現金  
支給を行う。(課長答弁)

(問い)  
単独所帯で長期入院中の  
方など、申請が困難な市  
民に對しては、どのよう  
な対策をとっていくのか。  
また、代理申請は誰が行  
えるのか。

(答え)

今回の定額給付の場合、  
単独世帯で長期入院で申  
請できない方に際しては、  
入院施設等の方の代理申  
請ができることとなって  
いる。(課長答弁)

(問い)

プレミアム付商品券(e  
チケット)販売にあたり、  
商工業者の加盟促進は図  
られているか。また偽造  
対策は万全か。

(答え)

商品券購入の利便性を  
高めるため、商工会の会  
報誌や広報まえばる、ホー  
ムページなどを通じて募  
集していく。

偽造に際しては、偽造  
防止のための特殊シール  
を印刷し、防止を図って  
いく。また印刷も市内業  
者に発注予定と伺ってい  
る。(課長答弁)

### 「なんでも前原商品券eチケット」が好評

いよいよ「定額給付金・子育て応援特別手当」が支給となり  
ました。皆さんは何に利用されますか？

前原市でも、商工会より10%プレミアム付商品券「なんでも  
前原商品券eチケット」を販売しています。

このeチケットは、1万円で1万1,000円分(1,000円券  
11枚綴)が購入できるプレミアムが付いた商品券で、市内の  
取扱加盟店で利用することができます。

取扱加盟店は、「シール」または「のぼり旗」が目印です。  
前原市内で飲食店やスーパー、薬局など400を超えるお店  
で利用できます。

1億2,000万円分発行しましたが、わずか半月で完売と  
のこと。

元氣な前原づくりに大きく貢献します。ご購入頂きありがと  
うございました。お問合せは商工会館(Tel322-3535)へ。



ご協力いただくお店に掲げられるのぼり旗

### 「糸島デジタル・ミュージアム構想の実現を」



(問い)

新市「糸島市」誕生後は、  
人口は福岡県で7番目、面  
積では5番目の広さとなる。  
また、九州大学移転により、  
学生・教職員が1万人とな  
る。  
九州大学を基盤として、  
様々な事業展開をさらに  
行っていくべきではないか。

(答え)

九州大学が伊都キャンパ  
スに統合移転することで、  
教授等が有する研究成果  
やノウハウを前原市の課  
題解決や商品開発につな  
げられる。また、1万人  
に及ぶ学生・教職員が伊  
都キャンパスで生活する  
ことによる経済効果も多  
大なものであり、若い活  
力をまちづくりに活かせる  
千載一遇のチャンスだと  
認識している。新市に  
おいても、調査・検討を  
お願いしたい(市長答弁)





# 議会を見に来られますか

今回の市議会は6月1日～16日まで開催されます。  
 今回私は6月12日に一般質問を行う予定です。  
 (午前の2番目・10時半～11時ごろ開始予定)  
 主な質問内容は以下のとおりです。

1. 低炭素化社会構築の具体的展開について。
2. 新経済対策に含まれている「スクール・ニューディール」構想について
3. 公園及び小学校の遊具について

市役所本館3階の議場に設置している受付簿に、住所・氏名を記入するだけで傍聴することができます。

皆様の来場をお待ちしております。



開会を待つ議場

(問い)  
 伊都国歴史博物館を核として、市民の生き様でもある広報誌を創刊号から最終号まで記録に留めたり、また糸島の方言や地域にまつわる伝説、各地の風景など、糸島地域における文化財をデジタルとして保存し、さらに全世界にミュージアムとして発信してみたいかがなものか。

(答え)  
 「糸島デジタル・ミュージアム構想」については、合併を契機に「糸島市」

のもつ沢山の素晴らしい考古・歴史・民俗資料等を収集・整理し、現在開設している伊都国歴史博物館のホームページを更に充実させていきたい。  
 また、民話・方言・伝統芸能などの情報をわかりやすく発信し、糸島市に行ってみたい、見てみたいという人を増やし、地域活性化につながるよう、全力で取り組んでいきたい。(課長答弁)



## 合併後の情報通信のあるべき姿について



(問い)  
 合併後の情報通信として、まずは糸島1市2町で情報格差をなくし、将来を見据えた高度な情報インフラを整備する必要があるのではないか。

(答え)  
 合併時には住民サービスに支障をきたすことのないよう、本庁舎と二丈庁舎、志摩庁舎を光回線でネットワーク化するとともに、公民館や図書館などの施設間も通信回線を使ってネットワーク化する計画である。(市長答弁)

(問い)  
 光ファイバーを利用し、本庁舎と二丈庁舎・志摩庁舎などを「庁内IP電話」内線通話を可能にできないか。また、会社や自宅で電子申請・届出や、公民館や体育館などの施設予約・情報提供がインターネットを介して実現

できないか。

(答え)

情報通信用の光ファイバーの一部を利用することにより、音声型のネットワークを構築し、本庁舎・二丈庁舎及び志摩庁舎間の内線化は可能。投資効果を勘案しながら検討していきたい。

また、非常時には災害時優先ダイヤル、アナログ回線等で対応できるよう同様に検討していく。電子申請や届出、公民館や体育館の施設予約等をインターネットを介して行う仕組みについては、将来的には必要だが、合併に伴う電算システム統合に最優先に全力で取り組んでいるところであるので、ご理解をお願いしたい。(課長答弁)



## ～皆様からの声をお待ちしています～



今回紙面に掲載できなかった項目に関しては、私のホームページに詳しく掲載しています。

アドレスは <http://www.sasaguriumio.com>

また、皆様からのご要望、ご相談も随時受け付けております。

連絡先は092-322-9150 (FAX兼) E-mail: [sasaguriumio@yahoo.co.jp](mailto:sasaguriumio@yahoo.co.jp)

いつでも、お気軽にご連絡ください。





公明党の「今日を守り、明日を創る経済対策」

NEW KOMEITO

# 女性の健康を守ります

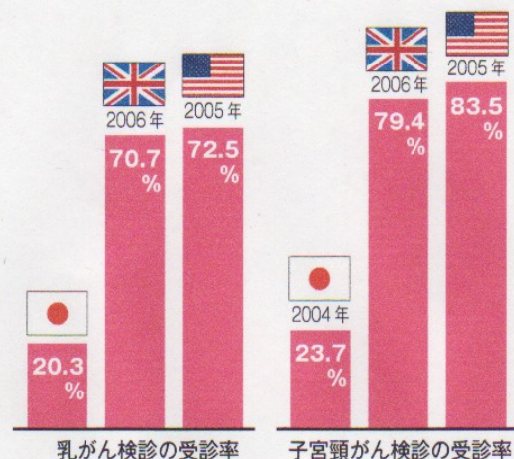


**早期**発見すれば完治する可能性が高いことが知られている子宮頸がんと乳がん。

しかし、その受診率は、英米の7～8割程度に比べ、日本は2割台前半という極端に低い状況が続いています。

そこで女性特有のがん対策として、一定年齢に達した女性を対象に検診手帳の交付とともに、子宮頸がんと乳がん検診の無料クーポンを配布します。

今回の対策によって、「政府のがん対策推進基本計画」(07年6月)で検診受診率の目標として掲げている「5年以内に50%以上」の達成に向け、大きな一歩になると期待されます。



がん検診受診率の比較

## 子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンを配布

### 受診対象

子宮頸がんは  
20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性

乳がんは  
40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性

お問い合わせ | tel: 092-322-9150 前原市議会議員 ささぐり 純夫